



竜北通信 高岩

甲斐市立竜王北中学校
学校だより
発行 校長 依田宏記
令和5年度 第3号
2023. 9. 12

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が16と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国とほぼ同程度です。特に「読むこと」では高い定着があり、日常の継続した取り組みの成果がみられます。一方で、自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして「書くこと」などについては課題がみられます。
- ・数学の平均正答率は全国よりわずかに低く、領域別では「数と式」と「データの活用」に課題がみられます。一方で観点別では「思考・判断・表現」の問題で高い定着が見られ、日頃からの言語活動が成果として表れています。
- ・英語の平均正答率は全国よりも低く、特に「書くこと」では課題がみられます。「聞くこと」については全国とほぼ同程度であり一定の定着がみられます。「読むこと」については書き手の最も伝えたい内容を選択する、読んだ後に書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書くことなどの正答率が低く、課題がみられます。「書くこと」については、まとまりのある文章を書くことでの正答率が低くなっています。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向が認められる項目
「人が困っているときは、進んで助けていますか」「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」「友達関係に満足していますか」「普段の生活の中で幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」について高い数値を示しており、良好な人間関係が築けていると考えられます。
- ・課題となる項目
「将来の夢や目標を持っていますか」については全国に比べて低い値になっています。「家で自分で計画を立てて勉強することをあまりしていない」生徒の割合が全国に比べて高く、家庭学習の方法に課題がみられます。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・制限や条件を設定して「書く」活動の機会を増やし、個別の知識・技能を活用する力、まとめたり自分の考えを表現したりする力等を総合的に育てます。
- ・数学の「知識・技能」の学習では、既習事項の復習をしたり、ワークシート等を利用したりして定着を図ります。
- ・英語の授業では、高校受験に向けて「読むこと」「書くこと」に力を入れていきます。長文を読む機会を多く取り入れたり、端末を使ってデジタル教科書を活用した授業展開をしていきます。また、英文を書く練習にも積極的に端末を活用していきます。「話すこと」についてもペアやグループでの会話練習を継続していきます。
- ・総合的な学習の時間を中心に、探求的な学習や協働的な学習をすることを重視していきます。①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→④まとめ・表現という探求のプロセスを発展的に繰り返すことで、一人一人の資質・能力の向上を目指します。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・お子さんの家庭学習の様子を気にかけ、自ら学習に取り組むことができるよう必要に応じて声をかけてください。
- ・生徒質問紙から、読書が好きな生徒が多く、学校図書館や地域の図書館に行く回数や平日の読書時間、家庭の蔵書数などをみても、読書環境が充実していることがわかります。これからも生徒たちが読書に親しんでいくことができるよう、ご協力をお願いします。
- ・「地域の行事に参加していますか」「地域や社会をよくするために何かをしてみたいと思いますか」など、保護者や地域との連携が不可欠な項目において全国平均を上回っています。生徒たちの学力や学びに向かう力、優しさや思いやりなどの人間性を育てていくよう、これからも連携と協力をお願いします。